

岩木川危機管理演習を実施します

～関係自治体合同による実践的な訓練を実施～

青森河川国道事務所では、岩木川での洪水を想定した「洪水危機管理演習（ロールプレイング方式）」を実施いたします。

この演習は、河川管理者と自治体（弘前市）との連携を図りながら、洪水時における迅速・確実な情報の収集・分析・判断、防災担当者の危機管理能力の向上を目的として実施するものです。

また、今回の演習においては、岩木川沿川の市町村の防災担当者に弘前市での演習を見学いただき意見交換を行う見学プログラムも実施いたします。

1. 日時

平成24年2月8日（水）9：00～15：00

挨拶、直前説明、作戦タイム

演習実施

検討会

（見学者プログラム 9：30～15：00）

講習・見学・意見交換

※演習当日及び前日までに、気象台から震度4以上または、津波注意報・警報等の発表がされた場合、洪水が発生する恐れがある場合、その他重大な事故・災害等の事象が生じた場合は、中止となる場合があります。

2. 場所

国土交通省 青森河川国道事務所

青森河川国道事務所 藤崎出張所

弘前市役所 消防本部

3. 参加機関

指揮部 東北地方整備局、青森河川国道事務所、
浅瀬石川ダム管理所、青森県

演習部 青森河川国道事務所、弘前市

参加人数

指揮部（コントローラー） 約30名

演習部（プレーヤー） 約40名 合計 約70名

危機管理演習
（青森河川国道事務所・
藤崎出張所・弘前市）

9:00-9:10 挨拶	
9:10-9:20 直前説明	
9:20-10:00 作戦タイム・休憩	
10:00-14:00 演習	
14:00-14:20 休憩	
14:20-14:59 検討会	
14:59-15:00 挨拶	
	見学者プログラム （弘前市）
	9:30-10:00 講習
	10:00-12:00 見学
	12:00-13:00 意見交換
	13:00-14:20 昼食

4. ロールプレイング演習とは

ロールプレイング方式の危機管理演習では、実際の災害時に近い場面を設定して、演習部は災害対策本部を構成するそれぞれの立場で災害時を模擬体験し、付与される災害状況を収集・分析・判断するとともに、対策方針を検討するなどの災害対処活動を行う。

訓練を仕掛ける側の状況付与班は訓練のシナリオを知っているが、演習部は訓練のシナリオを知らされていない。

演習部は、状況付与班が演ずる役割からの情報を収集・整理・分析し、状況判断の上、なすべき行動を決断し、指示や報告を受けるという一連の動きについて訓練する。

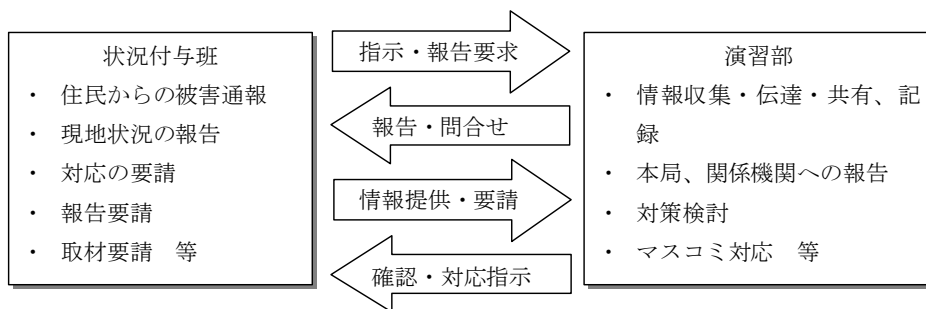


図1 危機管理演習の進め方

5. 見学者プログラム

今回、危機管理演習で演習部として参加する弘前市だけでなく、岩木川沿川自治体全体の水害対応能力の維持・向上を目的として見学者プログラムを実施する。

はじめに危機管理演習の目的や内容および一般的な対応等の講習を行ったあとに実際に弘前市が演習を実施している様子を見学する。

その後演習結果や各自治体における水害対応の留意点や課題について、見学者プログラム参加者で意見交換を実施する。

【参加自治体】

五所川原市、中泊町、鶴田町、藤崎町、田舎館村

※当日演習中の質問等への対応はできませんのでよろしくお願いします。

発表記者會：青森県県政記者会、建設関係専門紙、津軽新報社

【問い合わせ先】

国土交通省 東北地方整備局 青森河川国道事務所
TEL：017-734-4521(代表) TEL：017-734-4560(調査第一課直通)
副 所 長 小山 幸男 (内線204)
調査第一課長 福田 修 (内線351)